

群馬菱の実会だより

菱の実会 秋の親睦旅行 参加のご案内 『甲斐路・石和温泉』の旅

恒例になっています、菱の実会 秋の親睦旅行を先月号でご案内したところ、32人の方々から参加の申込みをいただきました。事務局に届いています参加者は、下記の通りです。参加の漏れ、及び集合場所、時間のご確認をお願いいたします。

長嶺 元	立浪 嘉明	大槻 伸次	長谷川正男	福島 晃 *
増田 三郎	河村 洋	長澤 英治	荒木 真	東条 孝雄 *
近藤 正司	荒木 計央	石関 武司	小林 昌樹	篠崎 辰夫 *
坂田 孝志	久保 弘行	田部井米司	田口 勝也	大谷 清輔
金子 吉男	下山 国夫	荒井 昭三	細野 孝雄	
境野 賢治	上村 統久	石尾 延也	佐藤 辰利	
内田 勇	糸井 功	斎藤 慶蔵	田野 博保	

- (1) *印の方は、JR深谷駅(10:30予定)で乗車、無印の方は、馬電正門前 10:00 出発です。9:45までに集合ください。
- (2) 車中の飲み物・食べ物は用意しません、必要な方は各自ご用意願います。
- (3) 馬電正門前集合の方の駐車は、正門前グランドを使用ください。雨天の時は 当日指示しますが駐車スペースの都合から、なるべく乗り合わせでお願いします。
- (4) バスの中で旅行のしおりを配布します。また参加費(17000円)を徴収させていただきます。

第27回菱の実会ゴルフ大会 高木よし子さん 優勝

8月10日、台風7号通過後の猛暑の中、上武ゴルフ場で32名の参加で開催されました。大変暑い中での大会でしたが、日頃の健康管理の良さで、全員元気に終了することが出来、幹事一同喜んでおります。今後も、益々身体を大切に、次回開催に向け頑張ってください。
上位入賞者は、右記の通りです。

順位	氏 名	GRS	NET
優勝	高木よし子	81	71.4
準優勝	岡部 勇	85	71.8
3位	川口 博	81	72.6
4位	高木 和彦	86	72.8
5位	稲葉 征一	87	73.8
6位	佐藤 好一	85	74.2
7位	坂田 修	78	74.4

06年度・馬電ふれあいフェスティバルのご案内

10月20日(金)17:30~20:00 馬電構内で実施されます。今回は、菱の実会から「素人演芸」として、急編成のOBバンド(アコーディオン、キーボード、ギター、トランペット、ウクレレ、サックスなど)が特別出演します。ご期待下さい。

【 第27回菱の実会ゴルフ大会の記念写真 】



’06-8-10 於：上武ゴルフ場

(菱の実会ホームページ上では、カラーで大きくご覧いただけます)

新会員紹介(会員番号 385) 本多昭夫さん(平成18年8月31日退職)

〒370-0035 群馬県高崎市柴崎町 2284-1 電話 027-352-5531

このたび、菱の実会に入会させて頂くことになりました本多です。

よろしくお願ひいたします。定年まで2年7ヶ月を残していますが、家庭の事情により平成18年8月31日付で三菱電機を退職しました。

昭和42年の入社以来、平成7年2月から11年3月の製品安全センター(大船製作所内)勤務を除いて全て群馬製作所に勤務させて頂きました。

担当職務は、クリーナ、ファンヒータ等のモータの工作技術、生産技術、光ピックアップの特性試験、ファンヒータの開発試験、温水器のサービス業務等といろいろな経験をさせて頂きました。この間、諸先輩の皆様にはなにかとご指導頂き有難うございました。

今後も、諸先輩の皆様には多岐にわたりご指導を下さるようよろしくお願ひいたします。



太田市尾島ぴっころ福祉作業所の作業応援の御礼

9月11日(月)～13日(木)までの3日間、延べ10人の菱の実会員の作業応援を頂き、所長さんからお礼の連絡がありました。ありがとうございました。

【会員投稿】

ほあけぼちいあ の「つれづれのまま」

ある日、”ひまじん”なる方からメールでお達しが入った。「老人保護？のために会員投稿をせよ」と。脅迫的ではあるが身に危険が及ぶほどの怖さがある訳ではない、まして”ひまじん”さんは尊敬する先輩のお一人でもある。断る口実も中々浮かばぬによって、思いつくまゝのくだらぬ拙分を恥書きすることとした。ときどきお付き合いのほどを。

まずは”ほあけぼちいあ”的な良い訳のない言い訳から。当人は子供の頃からいたってのなまかわ者(怠け者)である。即ち汗水たらすを厭うも結果を求める、良きいえば生産性を高くの志向だが…。こういうのから生まれる結果は大抵身に付かぬ。なまかわ者は自身の経験からいえば根気がない。根気の無さの一つに本を読むのがいたって好きではない。苦手である。しかしながら人の話を聞くのは結構好きである。ということで、これから思いつくままの書きなぐりはほとんど全部といっていい程の聞きかじりである。じゃによって拙文。即ちくだらぬことばかりである。

前置きが長くなった。初回のお題は手垢べったりの

「ぼちぼちお墓 でもつくろうか」

2年ほど前に公園霊園の一角に墓地をもとめた。条件の一つに3年以内に墓碑を建てる事になっている。そろそろどんなお墓にしようか考えなければならぬ。勿論吾も妻も子も孫も名が戒名に変わっているわけでもないしまだ当分は変えたくもない。生家には「先祖代々の墓」があるが、沖縄的な風習もない離れて分家した身にとってはそこに名を刻まない。

吾が生家とその地域の殆どは仏教信心、浄土真宗大谷派(お東さん)。子どものころから、お経のさびの部分がここちよいメロディーで頭に染み付いている。「キヨームニヨージュニヨライ、ナムフカシギコー」

親父が毎晩仏壇に向かって唱えているときは家族みなが後に座って拝んでいた。法事、葬式のときの坊さんのお経もこのところがクライマックス。勿論意味はさっぱり分からない。呪文である。

仏教はお釈迦さまの教えであること、いうまでもない。2,500年も前にインドで王さまの子に生まれながら自ら修行難行苦行し、35歳くらいで悟りをひらき80歳くらいで亡くなっているとのことであるが記録はないらしい。

お釈迦さまにはお墓はない。それは？……………

お釈迦さまの教えがいくつもある中で、命あるものはみな生老病死のあと死に変わる(生まれ変わる)、即ち魂は六道輪廻(りくどうりんね)の何れかに行き着くものの滅することはない、と。死後49日の間、魂はさまよいつづけていて、つぎの命に生まれ変わる。六道輪廻は上等のほうから、天上人・人間・畜生・餓鬼・修羅・地獄。餓鬼より下等は三途の川の向こうとか。

お墓も法事も仏事で、お墓は死者の魂を安置するもの。法事は死者の魂を供養するもの(或いは生者が死者の魂に供養してもらうという説もある)と思い込んでいた。

しかし、魂は生まれ変るも滅しない。従ってお釈迦さまの教えである仏教には、お墓もなければ、49日以後の法事もないということである、と。

だがしかし、吾の知るところ日本中の仏教のお寺さんお坊さんで、お墓は要らない、法事はすることはないなどとするのを聞いた事がない。なぜ？？？。

(菱の実会員の方で、否々、お釈迦さまの教えはそうでないとか、お墓は要らない法事はしないお寺や坊さんお知りの方は 菱の実だより では是非教えてください。)

さて、吾が墓碑は……。吾が生家は仏教信心の浄土真宗大谷派であったが、吾も仏教徒である訳ではない。むしろ無宗教無信徒である。

墓碑には吾の分としてはつぎのような事を建立のときとおりあえず刻もうかと考えている。妻や子供たちに強要はしないつもりである。

吾の名前は、父親はだれで母親はだれ、継柄はなしに、どこで生まれたのか。

亡くなる日は自分では刻まない。戒名は付けてもらおうかな？(付けるならば浄土真宗大谷派で)

◇おしらせ◇

		日時	場所	申込み、その他
1	10月の 囲碁愛好会	10月16日(月) 9:30~	赤城俱楽部	
2	10月の麻雀会	10月12日(木) 10月20日(金) 9:30~17:00	赤城俱楽部 会費 2000円	申込み10/10(火)16日(月) 下山國夫(0277-78-3204) 荒井昭三(0276-52-0803)
3	10月度 グランドゴルフ例会	10月23日(月) 9:30~	利根グランド ゴルフ場	希望者は、直接会場へ。
4	11月の パソコンサークル	11月6日(月) 13:30~15:30	労組事務室	ご自由にご参加ください
5	11月の カラオケ月例会	11月6日(月) 17:30~20:30	カラオケ本舗 「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み:10月31日(火)まで 佐藤辰利(0276-52-4688) 大橋 浩(0276-52-3866)
6	編集委員会	10月23日(月) 11:30~	組合会議室	都合の悪い場合は、事務局 まで忘れずにご連絡をお願 いいたします
7	幹事会	11月6日(月) 16:00~		

編集後記

- 今号から、「菱の実会だより」の紙面づくりを、岩松さんから引継いで小生が担当させて頂くことになりました。これまでと同様、親しみやすい紙面づくりに努めていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
- 菱の実会ホームページが、10月で開設から1年がたちました。9月15日現在のアクセス数は、累計で3000件を超え、ここ一ヶ月は300件以上を数えました。
たくさんの皆さんにご利用頂き、お礼申しあげます。
これからも、会員皆さんの活動状況や、お役に立つ情報をどんどん提供してまいりますので、引き続きご活用下さるようお願いいたします。
インターネット環境をお持ちの方は、「菱の実会だより」をホームページでご覧頂き、郵送料の削減にご協力下さる様お願ひいたします。
- 「菱の実会だより」、「菱の実会ホームページ」についての、忌憚のないご意見ご要望をぜひお寄せ下さい。

(篠崎 辰夫 記)